

京都ミュージアムPBL科目 授業運営イメージ

授業内容

学生の動き

基礎・状況理解

基本講義

文化施設関係者からフィールドの特徴と状況のお話を受け、ミュージアムでPBLを行う意義を説明する。

文化施設関係者からフィールドの特徴と状況のお話を受け、フィールドの特徴や基本を理解する。

事前調査・トレーニング

インタビューに向けて事前調査を行う。同時にどのようにインタビューをしていくかを考えていく。

事前調査(周囲への事前アンケート実施・文献調査等)を行う。またインタビュートレーニングを受ける。

インタビュー

インタビュー前調査をもとに質問を行う。施設側の課題や期待などについても把握する。

インタビューを通して、現場ならではの新たな視点や課題を発見し、施設の状況も的確に把握する。

調査

課題に関する、現状やニーズなどの調査を行う。

インタビューにかかわる項目を整理し、実地調査を行う。

課題解決案の提示

調査結果をもとにグループで解決案を考える。

課題について、調査結果をもとに課題解決案を提示する。

課題解決案の検証

課題解決案についてシミュレーションをするなど、課題解決の精度の検証を行う。

実際の課題解決案の精度を高めていくため、シミュレーションなどを行い、検証する。

中間報告

成果発表会に向けて、纏めた解決案や成果物を施設側に提案し意見をもらう。

プレゼンテーションや試作品の提示を行い、解決案のブラッシュアップを行うための意見をもらう。

解決案の改良

中間報告で出された新たな課題をもとに解決案のブラッシュアップを行う。

解決案をブラッシュアップする方法(調査、試作品の改良など)を考え、最終成果を出すために行動する。

発表・まとめ

プレゼンテーション準備

効果的なプレゼンテーションを追求する。

学習経緯を踏まえて成果のプレゼンテーション準備を行う。

成果発表会

これまでの学習成果について発表を行う。

他クラスとの合同の成果発表会でプレゼンテーションを行う。

まとめ

これまでの活動や成果を活動報告書に纏める。

課題点を確認し、学生自らの振り返りを行い、活動報告書に纏めることで今後の学習につなげる。